



小泉八雲

LAFCADIO HEARN

ラフカディオ・ハーン

K W A L D A N :
STORIES AND STUDIES OF STRANGE
THINGS — LAFCADIO HEARN
LECTURER ON ENGLISH LITERATURE IN THE IMPERIAL UNIVERSITY OF TOKYO, JAPAN (1896-1903)
HONORARY MEMBER OF THE SOCIETY, LONDON

小泉凡氏
BON KOIZUMI

Open Mind

ラフカディオ・ハーン オープン・マインド
小泉八雲 — 開かれた精神の航跡を辿る —

記念講演 2018 **10.20** (土)

- 会場：天理図書館講堂
- 14:00開演【13:30開場】
- 当日受付【先着150名】
- 入場無料

2018 10.19^{FRI} — 11.11^{SUN}

LAFCADIO HEARN

LAFCADIO

9:00 A.M. - 15:30 P.M.

天理図書館

会期中無休
入館無料
LAFCADIO HEARN
COLLECTION
Tenri Central Library

BOSTON AND NEW YORK
MITTON, MIFFLIN AND
ANY MDCCCIV

小泉八雲

LAFCADIO HEARN

ラフカディオ・ハーン



天理図書館開館88周年記念展として「小泉八雲 ラフカディオ・ハーン」展を開催いたします。イギリス生まれのアイルランド人ラフカディオ・ハーン(1850-1904)は、明治時代の半ばに来日し、帰化して「小泉八雲」となり、日本の優れた自然や風物、文化、また「耳なし芳一」「雪女」「ろくろ首」などの怪談や伝説を、魅力あふれる文章で広く世界に伝えました。本展は、ハーンの自筆草稿・書簡ならびに著作類を、P.D.パーキンス旧蔵書を含む天理図書館の所蔵資料から精選し展示するもので、ハーンを主題に据えるのは当館では初めての試みです。展示はその生涯に沿って行い、アメリカ時代に健筆を振った新聞をはじめ、初版本やそれらの自筆草稿、交友や創作に関わる書簡、写真類、また東京帝国大学の講義帳帳、ちりめん本として刊行された日本お伽噺の英訳本など、さまざまなハーンの著作を取り扱います。「明治150年」の本年、明治の日本を生きたハーンの資料を通して、作品の多様性や奥深さ、そこに見え隠れする人生、思想、さらには「心のやさしい清潔な性格がよく現れた」と評されるハーンの筆跡をも味わっていただければ幸いです。



天理図書館の所蔵資料から精選し展示するもので、ハーンを主題に据えるのは当館では初めての試みです。展示はその生涯に沿って行い、アメリカ時代に健筆を振った新聞をはじめ、初版本やそれらの自筆草稿、交友や創作に関わる書簡、写真類、また東京帝国大学の講義帳帳、ちりめん本として刊行された日本お伽噺の英訳本など、さまざまなハーンの著作を取り扱います。

LAFCADIO HEARN collection
East-Central Library

出品一覧

Greece-Europe 1850-1868

- 『ラフカディオ・ハーンの初版本カタログ 付小伝』 1933
- 『夢魔の感触』 零葉 自筆草稿
- B.H. チェンバレン宛書簡 [1894年8月17日付]

To America : Cincinnati - New Orleans 1869-1886

- 『シンシナティ・エンクワイアラー』 1873年5月1日-8月31日号
- E. フリーマン宛書簡 1876年4月24日付
- T. ヴィカーズ宛書簡 [1877年11月-1878年6月頃]
- 『サン・マロ』『ハーバース・ウィークリー』 1883
- 『ニューオーリンズ万国博覧会』『ハーバース・ウィークリー』 1885
- T. ゴーチェ著 L. ハーン訳『クレオパトラの一夜とその他幻想物語集』 1882
- 『異邦文学残葉』 1884
- 『ニューオーリンズ周辺の歴史スケッチと案内』 1885
- 『ゴンボ・ゼーブ』 1885
- 『クレオール料理』 1885
- 『中国霊異談』 1887



Martinique - New York 1887-1890

- 『チータ』 1889
- 『ユーマ』 1890
- 『仏領西インド諸島の二年間』 1890
- H. スペンサー著『第一原理』 1860-1862 6巻
- B.H. チェンバレン訳『古事記』 [1882]
- P. ローヴェル著『極東の魂』 1888

To Japan : Yokohama - Matsue 1890-1891

- 「日本への冬の旅」
『ハーバース・ニュー・マンズリー・マガジン』 1890
- M.C. マクドナルド宛書簡 1900年1月21日付
- 西田千太郎宛書簡 [1896年5月17日付]
- 『知られぬ日本の面影』 1894 2巻

Kumamoto - Kobe 1891-1896

- W.B. メイソン宛書簡 1892年9月25日付
- 小豆澤八三郎宛書簡 [1894年1月13日付]
- B.H. チェンバレン宛書簡 1894年3月4日付
- 『東の国から』 1895
- 『神戸クロニクル論説集』 [1913]
- O. エドワーズ著『居留地の詩』 1899
- 『心』 1896

Tokyo 1896-1904

- L. ハーン宛 B.H. チェンバレン書簡 1895年12月7日付
- 外山正一宛書簡 [1896年4月5日付]
- 外山正一宛書簡 1896年6月10日付
- 外山正一宛書簡(講義報告書) 1896年12月24日付
- 上田敏宛書簡 1897年6月30日付
- 『東京帝国大学における講義帳帳』 自筆
- 『仏の畑の落穂』 c1897
- 『異国風物と回顧』 1898
 - 「富士の山」 零葉 自筆草稿
 - 「永遠の憑きもの」 零葉 自筆草稿
- 40-1. 『霊の日本』 1899
 - 「破片」 零葉 自筆草稿
- 41-1. 『影』 1900
 - 「ゴシックの恐怖」 零葉 自筆草稿
- 42-1. 『日本雑記』 1901
 - 「破られた約束」 零葉集 自筆草稿
- 43-1. 『骨董』 1902
 - 「餓鬼」 零葉 自筆草稿
- 44-1. 『怪談』 1904
 - 「ろくろ首」 零葉 自筆草稿
45. 小泉セツ宛書簡 [1904年] 8月21日付
- S. ブランディ宛書簡 1904年9月5日付
- 『蛭』 句稿三句 自筆

After Death 1904-

- 『日本一ひとつの解明』 1904
- 『天の河綺譚その他』 1905
- 『山上憶良「古日を恋ひし歌」反歌考紙片』 自筆

Japanese Fairy Tales

- 『猫を描いた少年』 明治31年8月10日
- 『蜘蛛』 明治32年4月10日
- 『団子をなくしたお婆さん』 明治35年6月1日
- 『ちんちん小袴』 明治36年3月15日
- 『若返りの泉』 大正11年12月10日

TENRI CENTRAL LIBRARY

〒632-8577 奈良県天理市 杣之内町1050
TEL 0743-63-9200
ご案内 天理図書館ホームページ
アクセス JR・近鉄 天理駅より徒歩 約30分
名阪国道 天理東IC南へ 約10分



記念講演 10月20日(土) 午後2時

こいずみ ぼん 小泉八雲記念館館長・焼津小泉八雲記念館名誉館長・島根県立大学短期大学部名誉教授。1961年東京生まれ。成城大学大学院で民俗学を専攻後、松江へ赴任。八雲や怪談を切り口に、文化資源を発掘し観光・文化創造に生かす実践活動を行う。2017年7月、日本・アイルランドの文化交流貢献で外務大臣表彰。主著に『民俗学者・小泉八雲』、『怪談四代記-八雲のいたざら』ほか。小泉八雲會孫。日本ペンクラブ会員。

